

# 衝撃・振動試験装置

## G-5シリーズ

耐震  
地震再現

電気・  
電子機器

自動車

その他



G-5125N

### 最大4900m/s<sup>2</sup> (500G) の加速度

G-5 シリーズは  
高加速度の衝撃試験を行うことが可能なモデルです。  
動電型の振動試験装置が持つ特長を活かし、  
衝撃時間が長い衝撃波を高い精度で制御します。

### バンプ試験にも最適

任意の間隔で複数回の衝撃を発生させることが可能であり、  
バンプ試験機としてもご使用頂けます。

### 最大260mmp-pの大変位

100mmp-pから260mmp-pの振幅をとることができ、  
地震波再現試験に対応しています。

〈標準仕様 (一部)〉

- 加振方向：Z (垂直)    ■冷却方式：空冷式
- 可動部支持：静圧空気軸受

システム 型式		最大加振力	最大加速度	最大 速度	最大 変位	振動数 範囲	振動台 寸法	可動部 質量	最大 搭載 質量	振動発生機		電力増幅器		所要 電力	コイル 冷却方式
		サイン波 kN (kgf) ショック波 kNrms (kgfrms)	サイン波 kN (kgf) ショック波 kNrms (kgfrms)	サイン波 m/s	mmp-p	Hz	mm	kg	kg	型式	寸法 (W×D×H mm)	型式	寸法 (W×D×H mm)	kVA	空冷(m <sup>3</sup> /min)
G-5125N	サイン波	1.8 (179) *1.1kg 負荷時	706 (71)	2	150	3~2000	65×65	1.4	20	G22-125N	570×475×758	G14-007	570×710×1835	10	強制空冷式 (8)
	ショック波	7.5 (765)	4900 (500)	3											
G-5150N	サイン波	4.2 (428) *0.5kg 負荷時	706 (71)	2	200	3~2000	150×150	5.5	50	G22-160N	548×676×877	G14-014	585×1000×1835	18	強制空冷式 (10)
	ショック波	15 (1530)	2726 (278)	3											
G-5212N	サイン波	8.4 (857) *1kg 負荷時	706 (71)	2	150	3~2000	150×150	11	150	G22-212N	660×742×811	G14-021	585×1000×1835	28	強制空冷式 (15)
	ショック波	24 (2450)	2182 (222)	3											
G-5220N	サイン波	14 (1428)	1078 (110)	2	100	3~1400	200×200	13	150	G22-220N	852×1015×1063	G14-028	585×1000×1835	40	強制空冷式 (20)
	ショック波	35 (3570)	2691 (274)	3											
G-5230N	サイン波	21 (2143)	657 (67)	2	200	3~1400	200×200	32	370	G22-230N	940×994×1027	G14-042	1170×1000×1835	60	強制空冷式 (22)
	ショック波	61.2 (6250)	1914 (195)	3											
G-5230NS	サイン波	21 (2143)	598 (61)	2	260	0.4~1400	φ300	35	370	G22-230NS	930×1002×1212	G14-042	1170×1000×1835	60	強制空冷式 (22)
	ショック波	61.2 (6250)	1856 (189)	3											
G-5250N	サイン波	34 (3500)	647 (66)	2	260	0.4~1000	φ360	52	370	G22-250NS	1225×1218×1555	G14-063	1000×1755×1835	90	強制空冷式 (60)
	ショック波	85.7 (8750)	1649 (168)	3											

\* 地震波再現試験等、0.4Hz ~の振動数でご使用になる場合、

- ・ 低域用加速度センサ及び振動計が必要になります。
- ・ 振動発生機下部の防振用空気ばねの共振を避ける為、空気ばねの空気を抜く必要があります。

\* G-5 シリーズの稼働には、圧縮エア (0.5MPa, 50ℓ/min. 以上) が必要です。

\* 加振力 20kN 以上のシステムには、冷却用フロアから排出される熱風を屋外に排出させるための設備が必要な場合があります。